



ラボたまき にじLabo田巻さんより…その2

お待たせしました！先月号に引き続き、実習2日目の感想文です。以下全文です。

エアアイ ま ちから
AIに負けない力。

ひのき工房実習2日目。って最終日ですが…。率直な感想は、もっといたかったです。

少ないお給料から、私におにぎりを買ってきてくれた青年。休憩時間は「おねえさん、一緒にぶよぶよやろー！」って、何度も勝負しました。負けず嫌いの私でしたが、本気で負けました。でも、彼の嬉しそうな誇らしい笑顔がとっても輝いていました。「ワクチン注射やだね」って話で盛り上がった時、「おれ、もう大丈夫だよ。

23歳になって強くなったもん！」って、「自信があればどんな試練も乗り越えられる。そう思っていた昔の勝ち気な自分を思い出しました。

映画の宣伝会社でポスター制作の仕事をしていた聾者の畠山さん。筆談で「あなたの似顔絵30秒で描きます」って私をグッと見た瞬間、一気に書き上げました。素晴らしい才能です。「耳が聞こえない分、深く深呼吸して頭の中にイメージを浮かばせ、目だけの情報に集中して一気に描きます。」そう言って、こんなにも可愛らしく微笑んだ私の似顔絵を描いてくれました。畠山さんの描くイメージのような、優しい笑顔を絶やさない私でいたいです。

元・大工の本宮さん、今日はなんだかお疲れの様子。お昼休みは机に伏せて休んでいたの、遠くから気になっていたけど…。実は、前回の自己紹介で見せたTAMAKO（田巻典子さんの名前からとって作ったオリジナルキャラクター）から、キーホルダーを作製して下さっていました。「あと少し…」って、今日で私の研修が終わるのを知っていたのでなんとか時間までに間に合わせようと一生懸命作って下さいまし

た。作っていたタマコが割れたからって、急遽デザイン変更して作り直してくれたようです。

いただいた物以上に、「喜ばせよう」という、その心がとっても嬉しかったです。たくさんのお宝をいただき、今日を終えました。

機械の性能と、手作りの価値。生産性か、本質か…。

価値が多様化しているけれど、真逆のものだからこそ、ひとつのゴールに向かってバランスを保つのはとても大変。どんなに自分にとって自信があっても好きなものを作ったとしても、人が関わり「上手だね」「すごいね」って思ってくれる誰かがいて、そこで初めて価値が生まれる。

かつての教え子に「いつかsiriが教師になる時代がやって来る」と言われたこともあるけれど、にじLaboも、作業療法士さんも、ひのき工房さんも、人との触れ合い、そこから生まれる心が大きな価値を持つ仕事だと思いました。

正直「障害者」とは思えないほどに素晴らしい作品がこの場所からたくさん生み出されているように、私は「にじLabo」で、素晴らしい子どもたちをたくさん社会に送り出し、本当の価値について捉え直すことができる未来を願っている。

アイデンティティーを大切に、ポリシーを持って仕事をしている姿は最高にかっこよかったです。

オールウェイズ ビー ユアセルフ
Always, be yourself (いつもあなたらしくありなさい)

～たまき のりこ ラボ せつりつ けいせい
～田巻 典子さん にじLabo 設立の経緯～

大学生の頃、担任の先生から特別支援教育の道を勧められ、公立小学校で特別支援学級の担任として「素敵な子どもたちと出会う最高の場所」での毎日を過ごしていた。

しかし子どもたちの抱える困難さは様々であることから、障害の有無や種別に関わらず、すべての子どもたちにとってより良い学校生活とは何かを追求し、模索する。諦

めの悪さとフットワークの軽さが武器となり『ないものは作れば良い』と、教員を辞

め、学校環境に馴染めず不登校となってしまった子どもたちを対象としたフリース

クール「にじLabo」を設立。(山梨県笛吹市) 子どもたちに「もう一つの選択肢」と

して自分らしく学べる場を提供し、活躍されている。

あたら ^{しごと} 新しいお仕事にチャレンジ！

わたなべひろと さぎょう さとうりこ こしかいしゅう はつ
渡辺広翔さんがクッキー作業に、佐藤璃胡さんがリサイクル古紙回収に初チャレン
ジしました！ひのき工房では、利用者さんの「やってみたい！」を応援しています。
りようしゃ じょうたい じょうきょう はあく うえ しょくいんかいぎ ぎだい あ あんぜん さぎょうで き
利用者さんの状態や状況を把握した上で職員会議の議題に挙げ、安全に作業出来
るかを、しっかりと検討します。以前からひのき工房便りに掲載しているような記事
もそのひとつです。今回も初めての体験をした2人の感想を聞いてみましょう！



わたなべひろと はし さぎょう さいしよ
渡辺広翔さん「初めての作業で最初
はどうなるかと少し心配したけれ
ど、クッキー作業のみんなが優しく
教えてくれて、楽しく作業するこ
とができました！」



さとうりこ たん おも
佐藤璃胡さん「段ボールがすごく重かったです。でも
しむら はこ てつた
志村さんが運ぶのを手伝ってくれました。パッカー車の中で
しむら うた き じょうず
志村さんがたくさん歌を聞かせてくれて、すごく上手でした。
たの 楽しかったです！」

しゅっちょうはんぱい 🍪ふきのとう出張販売🍪



10月6日(水)、クッキー・パウンドケーキの
販売に「ふきのとう」に行ってきました！
駐車場の案内から、販売スペースのセッティング
などテキパキと準備して下さり、いざOPEN♪
コロナ対策をとり、お一人ずつ順番に見に来て、
「あれもいいな～、これも美味しそうだな～」と
皆さんに買っていただけました。
美味しく召し上がっていただけたなら何よりです。
また、温かく出迎えて下さり、ふきのとうの皆さん
まで大変ありがとうございました。

ひなんくんれん じっし 避難訓練を実施しました！

全国各地の記録的な大雨で河川の氾濫や土砂災害、阿蘇山の噴火、頻繁に
多発する地震。私たちの生活には常に自然災害の脅威にさらされています。

ひのき工房でも10月22日(金)に、

抜き打ちの避難訓練を実施しました。

今回は、地震が発生した後に火災発生

という設定です。まず落下物から身を守る

行動、ガラス付近からの回避行動の後、

火災発生での屋外避難になりましたが、

皆さん落ち着いて避難行動をとり、

避難完了時間は4分20秒でした。今回は2階から1階まで階段を使った避難と

になりましたが、実際の場面を想定して「はしご」を使っただけの避難訓練も必要だとい

う反省点があがりました。避難する状況が来ない事を願いながらも、日頃からの

心構えを維持していきましょう。



ごううさいがいしえんほきん きょうりよく
豪雨災害支援募金へのご協力ありがとうございました。

しゃかいふくしほうじん ふき かい
社会福祉法人 踏の会

りじちよう いわさわ むつお
理事長 岩澤 六夫

ことし しずおかけんあたまし ぜんこくかくち しゅうちゅうごうとう どうしゃ こうすいさいがい はっせい
今年も静岡県熱海市をはじめ全国各地で集中豪雨等による、土砂・洪水災害が発生
し死者を含め大きな被害が出ました。踏の会で呼び掛けた支援カンパに各施設で多くの
かた さんどう か き とお まんえんあま あつ
方に賛同していただき、下記の通り16万円余りが集まりました。

みなさま りかい きょうりよく こころ かんしゃ もう あ ほきん はんぶん
皆様のご理解とご協力に心から感謝を申し上げます。この募金の半分
80,748円は中央共同募金会を通じて被災した方へ、残りの半分80,478円
については、まいとししえんきん そうげいしゃ ほじょ どうきょうときょうどうほきんかい きふ
毎週支援金や送迎車の補助をいただいている東京都共同募金会に寄附さ
せていただきました。

ほんとう
本当にありがとうございました。

	職員 ボランティア等	メンバー	利用者及び家族	金額
ころぽっくる	14人		22人	54,632円
ふきのとう	6人		2人	6,664円
ぽぷら八王子	9人	7人		39,700円
ひのき工房	22人		31人	31,000円
とぶきふねん	2人	17人		20,500円
本部・役員	3人			9,000円
合計	56人	24人	55人	161,496円